

■服部南郭 儒学者、漢詩人。身分を脱する生き方で、江戸後期に輩出する文人の先駆になった。

はっとりなんかく
八百屋お七・1683＝ 前田利長に仕えた武人出の上層町人が藩政改革で地位が危うくなり移住した京都で、服部元矩の次男に生まれる。母は蒔絵師・歌人として知られた山本春正の娘吟子。

堀田正俊暗殺1684＝ 1歳：

一流文人と交流して連歌・和歌等を盛んに詠ずるような上層町人の環境に育つが、

世間胸算用・1692＝ 9歳：

生類憐令頂点1695＝12歳：父が死去したため、
重秀勘定奉行1696＝13歳：歌人として自立すべく、江戸へ下る。

才能が認められるようになって、

・・・・・・1700＝17歳：_お伽相手に柳沢吉保に召し出され、
1701＝18歳：

_吉保に抱えられた荻生徂徠らの影響で、漢詩に親しむようになり、

徳川綱吉没・1709＝26歳：_將軍綱吉の死去で吉保が失脚隠居すると、
・・・・・・1710＝27歳：この頃、井出新内の養女と結婚。
冥途の飛脚・1711＝28歳：長男が誕生。この頃、_荻生徂徠に入門、

和漢三才図絵1713＝30歳：兄が死去。
絵島事件・・1714＝31歳：_吉保が死去し、その藩邸を去った徂徠が茅場町に塾を開いて、けい園学派と称される頃には、太宰春台と双璧と見なされるまでになり、自らも吉保の子吉里に疎んじられていたことから、

徳川吉宗將軍1716＝33歳：

御蔭参流行・1718＝35歳：*柳沢家を致仕し、上野池之端で塾(英きょ(草冠+渠)館)を開く。
・・・・・・1719＝36歳：
洋書輸入解禁1720＝37歳：芝増上寺近くに転居。「唐後詩序」を草する。

_後半生を、文人として全うすべく過去を隠蔽し、次々転居してながら、ひたすら詩作に打込み、

火の見櫓制・1723＝40歳：山王町に転居。
近松没・・1724＝41歳：西窪富山町に転居。次男が誕生。「唐詩選」を校刊。

懷徳堂公認・1726＝43歳：宇田川町に転居。
・・・・・・1727＝44歳：*「南郭先生文集」を刊行。文人としては珍しく生前の、しかも早いうちから初編とうたい、
荻生徂徠没・1728＝45歳：荻生徂徠が死去。

・・・・・・1730＝47歳：母が死去。三島町に続いて赤羽に転居して、_ようやく落ち着き、

享保大飢饉・1732＝49歳：「五七絶句解序」を草する。
・・・・・・1733＝50歳：「唐詩品彙」を校刊。
・・・・・・1734＝51歳：「文筌小言」「南郭先生燈下書」を刊行。

・・・・・・1737＝54歳：_「南郭先生文集」二編を刊行。

ツツ船出没始 1739＝56歳：「郭注莊子」を校刊。
・・・・・・1740＝57歳：次男が死去。

公事方御定書1742＝59歳：森元町に転居。

石田梅岩没・1744＝61歳：鹿島に遊び、「潮来詞二十首」。
徳川吉宗隠居1745＝62歳：上方に旅行。_「南郭先生文集」三編を刊行。
菅原伝授十・1746＝63歳：
義経千本桜・1747＝64歳：この年、太宰春台が死去。
忠臣蔵・・1748＝65歳：長男が死去。

・・・・・・1750＝67歳：「大東世語」を刊行。
徳川吉宗没・1751＝68歳：

薩摩藩工事・1753＝70歳：四女に門人を迎えて養嗣子とする。

自然真営道・1755＝72歳：

源内物産会・1757＝74歳：渋谷羽沢に別邸を営み、
宝暦事件・・1758＝75歳：*整然たる体系をもって刊行してきた文集を完結させるように、「南郭先生文集」四編を刊行して、
大弐政治批判1759＝76歳：_没した。

岩波「江戸詩人選集3」,「没年日本史人物事典」,平凡社百科事典,